

会長メッセージ

私事です。先日、大学卒業後45年目の同窓会がありました。お互い古希を迎える年になり、未だ現役の者、後進に道を譲った者、いろいろでしたが、それぞれの顔に、充実した人生を、かいまみることが出来ました。そして思ったことは、今できることを、今やっておくということでした。

仕事でも、弓道でも、それぞれの年代で、やるべき事をやるということではないでしょうか。

今日の練習が、明日につながります。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

◆勤労者大会報告



6月7日から3日間、長崎県島原市霊丘公園体育館・弓道場に於きまして第60回全日本勤労者弓道選手権大会が開かれ、シャープ支部

より2チーム出場させて頂きました。他都道府県からも全国から選手団が到着し、盛大に開催されました。初日の公開練習で両チーム立ちを組み、本番に向けて最終調整を行いました。2日目の1次予選ではシャープAチーム3中、シャープBチーム4中と、一次予選通過条件の7中に届きませんでした。

今後ともこのような晴れの舞台でもよい成果を残せるように稽古に励んでいきたいとおもいます。

(シャープ支部 菅沼)

◆平成25年度近畿地区指導者講習会

さる5月18日(土)、19日(日)の2日間にわたり、京都市武道センター弓道場での講習会に参加してきました。主任講師は小宮栄子範士八段、講師宮脇保博範士八段で、受講生は36名、うち奈良県からは西浦指導部長以下6名参加しました。

今年の変更事項は特にありませんでしたが、講師が強調されたのは、教本・副読本に忠実に正しく行うことでした。見取稽古は、射を拝見させていただくという気持ちから正座し、腕組みや膝を崩す姿勢は好ましくないとの指導を受けてきました。

更に昨今のスポーツ界で問題となっているハラスメント、熱中症対策にも講話がありました。(右上へ)

▶ **基本体**：基本体については、特に執弓の姿勢、入退場の礼・揖の姿勢・両足の向き・目線について細かく指導を受けました。また坐してのまわり方と、矢番え動作には相当の時間をかけて指導をうけ、膝が擦れて赤くなり、翌日はふくらはぎに筋肉痛が出たほどでした。

○執弓の姿勢は末弭を常に体の中心におくこと。

○入退場は、礼・揖の対象(本講習会は国旗)に両足先をしっかりと向け正対すること。

○坐してのまわり方(開き足)

跪坐のため半足引くが、一足引く人が多いので注意。

的正面から脇正面へ(またその反対)向きを変えるとき、膝を確実にかぶせて回ること。

肌脱ぎ・肌入れの際は、末弭を体の中心から外さないで回ること。

弓の籐頭を持つこと。

四つ躰の人も肌脱ぎ、肌入れで回るときは弓の籐頭を3指で持つこと。

○矢番え動作

矢は回転させながら繰り込まない。しっかり繰り込んで番えるときに調整する。

乙矢は走り羽根を下にくるように打ち込む。

▶ **射技指導**：射技では「会では残身をイメージして伸びあうこと」がテーマでした。

両講師とも個別指導では、一人ひとりの受講生の課題点・直すべきところの対応方法を、時間を大幅にオーバーしてまで熱心に指導されました。私自身も丁寧な指導を受け満足感が得られたし、他の受講生も同じ感想を持っていました。

▶ **ハラスメント(セクハラ、パワハラ)**：現在スポーツ界では、暴力やハラスメントの問題が起きて社会問題化しているが、弓道界にとっても無縁ではなく、起こり得ることである。指導する場合に注意すべきこととして、以下の点をお話しされました。

- ・指導相手がどのような人であっても、その人格を尊重しなければならない。
- ・相手との相互信頼関係を築くことが大切
- ・指導上どうしても体に触れる場合がある、ということをあらかじめ伝えておく。
- ・感情的な指導はしない。相手が不愉快になる言動を厳に慎む。
- ・特定の人に偏らない公平な指導をする。

射技研修の最後に、持ち的射礼、2人、3人、4人の一つの射礼、5人の立射礼が組まれていて、七段受有者5人による立射礼を初めて拝見し、射礼の深さを感じてきました。

小宮、宮脇両講師のお人柄からか、武道修練の厳しさの中にあっても言い知れぬ和やかな雰囲気があって、私にとって心地よい緊張感での講習会でした。(千葉健一)

◆第1回 伝達講習会

5月26日(日) 橿原公苑弓道場において称号受有者対象の第1回伝達講習会が行なわれました。

(参加者：受講生19名・指導部員7名)

竹村副会長により「2月の称号者研修会の参加人数と比べると今回は約半分であり寂しい。この伝達講習会に参加することが県の称号者としての存在意義であるという認識を皆さんの周りに拡げていただきたい。」というご挨拶があり、その後、大学の関西選手権での出来事を例に「初心者の人に二人で弓を張る時の安全な方法を教えてあげる等基本的なことを粘り強く伝えていくことが大切です。」というお話がありました。

矢渡しの後講評、その後西浦主任講師より前週に京都の武道センターで開催された近畿地区指導者講習会の内容について詳しい伝達がありました。

午後、一つの研修、その後四人による立射礼の研修が行なわれ、久々にやる人、初めて経験する人、見学する側も初めて見るという人もいて、趣きの違った内容で弓道の射礼の新しい魅力も発見できる、という事を感じた研修でした。(指導部 山本元祥)

◆第2回伝達講習会

6月9日(日) 奈良市弓道場において、四・五段及び支部指導者を対象とした第2回伝達講習会が行なわれました。(参加者：受講生48名、指導部員7名)

まず、矢渡しにおける介添えについての講評があり、その後受講生全員の一手行射で午前中は終わりました。

午後の前半は西浦主任講師から近畿地区指導者講習会の内容の伝達が行なわれました。「新しいことや変わったことは無く、基本体(正しい姿勢、動作)をしっかり確実に行なうことが大切」との話のあと、指導員二人がモデルとなり、その動作を見ながらの具体的な説明がありました。

主なポイントは次のとおりです。

- ① 足踏みは左右均等な角度で踏み、一旦決まると動かさない。
- ② 本弭を左膝にあてるとき、矢が床と水平になるように。
- ③ 入場では上座(国旗)に正対し、礼(揖)をする。
- ④ 退場時に揖を行なう際、単なる方向転換でなく、上座に踏み出して正対する。

- ⑤ 座る時、半足引く足は正確に半足とする。
- ⑥ 本座での揖は三息で確実に行なう。
- ⑦ 開き足を確実に行なう。特に本座で、脇正面からの正面に向きを変えるときは注意する。
- ⑧ 矢番え動作を確実に行なう。特に肘を生かして使うなど。

午後の後半は、前の射場(二的)で西浦主任講師による射技指導、後の射場(四的)では五段受講生を中心に、指導員が一人一人ついて、持的射礼の研修を行いました。最後に、受講生は、疑問点については質問をされるなど、積極的に参加されていました。

(指導部 野尻祥枝)

◆審査員研修会

実施日：平成25年6月2日 参加人員：34名

目的：審査員の意思統一を図る

(1)「審査基準の徹底を図る」とし、24年度の第240回から第245回の審査実施後のミーティングでの問題点について検討しました。

検討事項は以下の通りです。

- ・高体連との申合せである「特別講習会への出席意義」について徹底がなされていない。(7月審査)
- ・級位受審は、現級を基準に評価する。
- ・初段以上は「取り矢」をする、とあるが「級位」については記載が無い。
- ・「矢こぼれ」による「失」が多かった
- ・体配・射技に「学校間」の格差が目立った。
- ・学科問題は各回の出題を記載しているのに出来が悪い＝学科での落第がみられる。
- ・「参・四段の学科問題の一部が難しい」との意見も出たが、弓道修練に必要であり見直しはしない。
- ・学科問題の出題用語を弓道教本と併せてはどうかとの意見があり検討する。

(2)その他＝審査部からの要望

・「審査申込書」の不備が多い、支部責任者はチェックしてもらいたい。(受審者印漏れ、指導者印漏れ、IDナンバー相違、締切後の申込み)

・審査手伝い人員10名について、仕事の量と費用の面で検討します。

*以上の事柄について、今後も意識の統一を図って行くが、術科、学科審査員とも、「奈良県弓道便覧」のP22～P25迄の「地連審査要項」を熟読し十分に理解の上運用することを申し合わせました。

(審査部 明瀬憲正)

◆平成25年度全国高等学校総合体育大会

兼 第58回全国高等学校弓道大会県予選会

兼 第66回近畿高等学校弓道大会県予選会

○個人1次予選：6月1日(土) 橿原公苑弓道場
参加者 女子258名 男子240名 3人立 各自4射
3中以上1次予選通過者 女子48名 男子49名

○個人団体2次予選：6月9日(日) 橿原公苑弓道場
個人準決勝 4射3中以上通過者
女子10名、男子18名

○個人決勝戦 射詰競射

女子 ①西川 佳那(橿原)② 弥富 舞羽(高田商)
③ 前田 知明(高田商)④ 山床 杏莉(平城)⑤ 松
井 志央理(奈良北)⑥宮尾 耶々香(橿原)⑦坂本
麻衣(郡山)⑧金川 知未(畝傍)⑨平井 千愛(橿
原)⑩田中 里佳(郡山)

男子 ①藪野 真也(畝傍)②西村 伊吹(桜井)
③當麻 直哉(高田商)④大古 凌也(高田商)⑤米田
昂史(王寺工業)⑥原田 遼(畝傍)⑦平井 悠貴
(郡山)⑧橋本 龍汰(奈良)⑨米川 貴啓(橿原)
⑩岸田 直也(平城)

○団体決勝リーグ戦

女子：① 橿原高校 4勝1敗 63中
(西川・中山・久保・伊藤・園田・後藤)

② 畝傍高校 4勝1敗 53中
(岡本・村田・金川・山岡・大辻・平)

③ 郡山高校 3勝2敗 67中
(田中・坂本・藤田・松本・岡本・下村)

男子：① 橿原高校 4勝1敗 71中
(小西・森岡・高井・松村・米川・松本)

② 王寺工高校 4勝1敗 70中
(今西・大西・生田・米田・杉井・吉村)

③ 畝傍高校 2勝3敗 64中
(倉角・原田・上田・川北・竹岡・藪野)

○技能優秀者 女子 田中 里佳(郡山)

男子 杉井 邦彦(王寺工業)

男女とも個人1・2位と団体1位は、8月1～4日に福岡県北九州市で行われる全国高校総体に県代表として出場。

また、個人1～10位と団体1～3位は、7月21・22日に京都府京都市で行われる近畿高等学校弓道大会に出場します。(高体連)

◆大和郡山市市民体育大会

5月12日(日)、大和郡山市市民体育大会弓道の部が開催されました。青年の部47名、一般の部30名の計77名の参加となりました。

今年は競技方法を例年とは少し変え、各自四ツ矢坐射2回の計8射を行い、的中上位より入賞者を決定する方式にしました。競技方法を変更した事もあり、終了がかなり遅くなる事が予想されましたが、皆様のご協力で予定より早く終了する事ができました。ありがとうございました。結果は下記のとおりです。

<青年の部 表彰者>

順位	氏名	所属
優勝	布川 昂典	奈良高専
2位	阪倉 航平	郡山高校
3位	横川 浩平	奈良高専

<一般の部 表彰者>

順位	氏名	所属
優勝	藤岡 順	香芝支部 蒼穹会
2位	村上 央恵	郡山支部
3位	藤本 伸泰	天理よろづ病院

(小林宏樹)

◆第68回国民体育大会 奈良県最終予選会 速報

6月16日 炎天下の元 橿原公苑弓道場にて、成年の部、少年の部の最終選考会が行われました。

選考結果は以下のとおりです：

成年男子の部

新子 修平、辻本 元威、山口 亮二、
(補欠) 原田 裕介

成年女子の部

奥戸 由美、小野 温美、林 秀子、
(補欠) 松澤 和実

少年男子の部

小西 健太郎(橿原)、杉井 邦彦(王寺工業)、
今西 達也(王寺工業)、永島 大暉(法隆寺国際)、
清水 寛輝(五條)

少年女子の部

前田 知明(高田商業)、西川 佳那(橿原)、
伊藤 ほの香(橿原)、東 香奈(法隆寺国際)、
葭川 奈実子(王寺工業)

近畿ブロック大会は、8月17・18日に橿原市で行われます。多数の応援をお願いいたします。

◆平成25年度「長寿と健康の祭典」

奈良県高齢者スポーツ文化交流大会 第一回健康長寿の弓道大会

(兼 ねんりんピック奈良県代表選考会)

主催 奈良県、(福)奈良県福祉協議会(財)奈良県老人クラブ連合会

主管 奈良県弓道連盟

平成25年5月18日 橿原公苑弓道場

参加選手：42名 色的による得点制

大会結果

団体戦

- 優勝 85点(松尾 謙二、西尾 信行、北村 良文、
柚木 揺子、西中 正)
- 2位 83点(天野 孝雄、平田 ゆり子、中井 達男、
河合 博子、新司 正人)
- 3位 75点(森川 昭、斎藤 文男、仲 佐江子、
能島 美喜子、赤松 順次)

個人男子

- 優勝 天野孝雄(30点) 2位 西中 正(28点)
- 3位 赤松順次(26点) 4位 松尾謙二(25点)
- 5位 小林保彦(25点)

個人女子

- 優勝 鈴木秀子(21点) 2位 仲 佐江子(21点)
- 3位 平田ゆり子(10点) 4位 明崎静代(9点)
- 5位 能島美喜子(8点)

上記の皆様が表彰されました

ねんりんピック奈良県代表チーム(郡山支部所属)

森川 昭・斎藤文男・仲 佐江子・
能島美喜子・赤松順次

注記：同点での順位は敬老精神による

総合開会式概要(9:00~9:30)

県立橿原公苑第一体育館、参加者：1058名
知事挨拶要旨：健康長寿日本一をめざし高齢者のスポーツ活動・文化活動の推進強化を図る。

尚、弓道より選手宣誓に河合博子、清水勝の両名が指名されました。

弓道競技概要(10:00~)

・巻藁 射礼

射 手	範士九段	吉本 清信先生
第一介添え	教士六段	松岡 豊和先生
第二介添え	錬士五段	赤松 順次先生

*第一回大会を寿観点から企画致しました。

(右上へ)



(吉本会長による巻藁謝礼 乙矢)

・矢渡し

射 手	教士七段	新司 正人先生
第一介添え	錬士六段	明崎 静代先生
第二介添え	錬士六段	森 昌彦先生

・競技(全日本弓道連盟競技規則を準用)

(1) 近的、36cm色的使用による得点制(金10、
緑7、赤5、白3)

(2) 立射、射数は四矢2回

・大会記念的 争奪戦(10個)
的中者の取り切り

・表彰・閉会式(~15:00)

大会の結果及び表彰は左記の通り

謝辞等

如何に魅力ある大会を・・・コンセプトに始めた支部
ヒアリングに応じて頂きました方々。企画・準備・運営
に協働頂いた皆様。得点制のシミュレーション・的貼りに
ご参集頂きました大勢の方々。当日スタッフにてお世話
頂きました皆様。選手の皆様。お陰様で大会を無事に
終える事が出来ました。中心よりお礼申し上げます。
人と人との繋がり「絆」を再認識させて頂けた事は私の
大きな財産と成りました。有り難う御座いました。

向後の対応

本大会を総括し、次会お世話戴く皆様の一助に供したく
存じます。(総務部熟年連絡員：清水勝)

◆第62回住吉大社全国弓道大会

今年度の大会では学生の部で、男女とも入賞されています。おめでとうございます。

男子：第8位 森下 大和(天理大)

女子：第4位 山崎 麻未(天理大)

編集後記

今月号には、大会も多く、たくさんの原稿をいただきありがとうございました。紙面の関係から一部書式等を変更させていただいております。お許しください。